

＜目指せ！ 1等米比率90%以上！！＞ JA富山市米品質向上生産運動展開中

品質の高い米を生産するには、「充実した太い茎」と「元気な根」を確保することが重要です。
そのため遅れずに、次の作業を行いましょう。

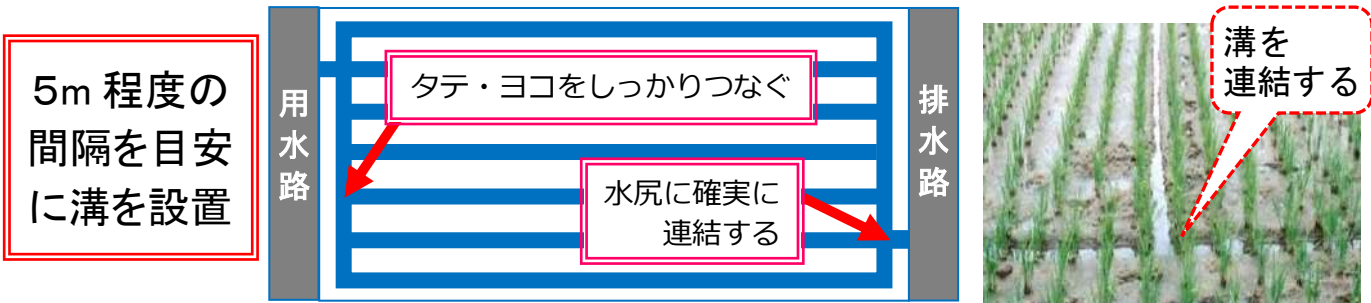
- ①中干しを効果的に行うため、「溝掘り」を確実に実施しましょう。
- ②田植後4週間までに「中干し」を開始し、根の健全化を図りましょう。

1 溝掘り ☆田植後3週間頃から落水し、泥を落ち着かせて溝掘りを行う

溝掘りは、効率的な入排水や、ほ場内の均一な生育管理を行うために有効です。

＜溝掘りのポイント＞

- ・形が崩れないよう軽く田干しを行い、泥を固めた後、ひたひた水程度まで再入水して溝を掘る。（溝掘り後に落水）
- ・溝と水尻は確実に連結する。
- ・排水が悪いほ場は溝の設置本数を増やす。



2 中干し ☆田植後4週間までに中干しを始め、確実に田面を固める

6月に入ると急激に分げつが増加します。田植後4週間までに遅れず「中干し」を開始しましょう。
また、出穂後20日間の湛水管理に備え、この時期に確実に田面を固めるようにしましょう。

①中干し時期の目安

田植日	中干し時期
5月10日	6月7日までに開始
5月15日	6月12日までに開始

中干しの効果

- ・無効分げつの抑制
- ・土中への酸素供給
- ・地耐力の向上

②中干しの程度

- ・田面に軽い亀裂が入る程度を目安に干しましょう。
- ・復元田は、土がしまりやすいため一度に干しあげず、徐々に干しましょう。

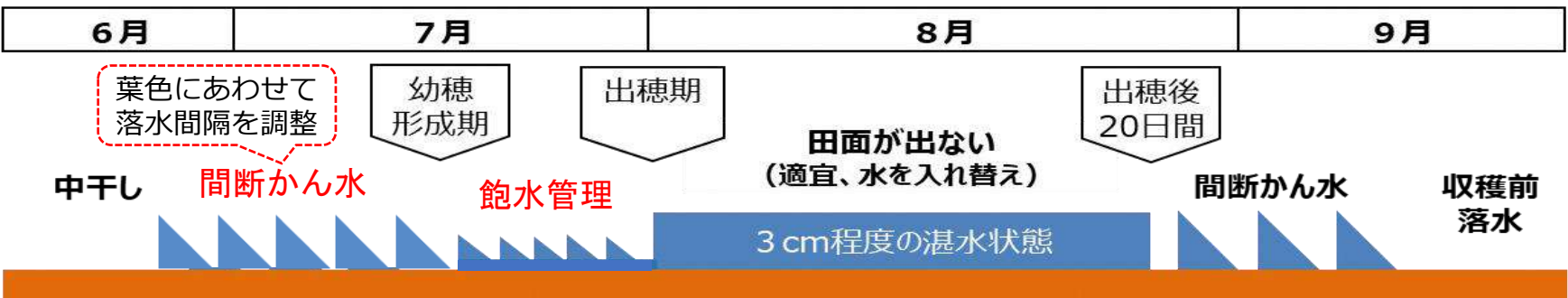
中干し終了の目安は、ほ場中央部でくるぶしが軽く沈む程度です



3 中干し後の水管理 ☆中干しが終了したら間断かん水を行う

- ・中干し後は、幼穂形成期頃まで「湛水と落水を繰り返す間断かん水」を実施しましょう。ただし葉色が急激に低下したり、葉色の淡い期間が長い場合は、「田干し間隔の短い『干し過ぎない』間断かん水」とし、中干し後～幼穂形成期にかけての葉色を適正にコントロールしましょう。
- ・幼穂形成期まで足跡の深さ3cm程度を目標に地固めしましょう。

＜水管理のイメージ＞ コシヒカリ



4 中間追肥の施用

☆中干し後はケイ酸、カリの施用で丈夫な稲体に仕上げる

ケイ酸、カリの施用効果

- ①根の活力を高める ②フェーン時に水分の蒸散を防ぐ ③茎葉を丈夫にし、倒伏を防ぐ
④受光体勢を良くし登熟を高める ⑤カリは稲の体をつくり、減収を防ぐ

肥料名	時期	10a当たり施用量
エスアイ加里らくだ	6月中旬 ～下旬	15kg
エスアイ加里カリ投げくん		4 kg(200g×20個)
シンキョーライトP		20kg

エスアイ加里カリ投げくん【パック肥料】

- ・ほ場に投げ込むだけなので動力散布機をかつぐ必要がありません
- ・5 cm 以上湛水して施用しましょう！

5 中・後期除草剤

☆雑草が残った場合は、使用方法を確認し適期に散布する

雑草の状況	除草剤名	10a当たり散布量	散布時期	使用回数	使用上の注意
広葉雑草 (ホタルイ オモダカなどが 残った場合)	バサグラン 粒剤	3～4 kg	田植後15～55日 (収穫45日前まで)	1回	・落水して雑草を露出させ、晴天日を選んで散布する ・散布後3～4日間は田に水を入れず、また降雨によって薬剤が流出しないよう、水尻は必ず止めておく ・スポット散布も可
	バイスコープ 1キロ粒剤	1 kg	田植後14～60日 (収穫45日前まで)	1回	・散布の際は、湛水状態で田面に均一に散布する ・散布後、3～4日間は湛水状態を保ち、7日間は落水やかけ流しない
ノビエのみ 残った場合	トドメMF 1キロ粒剤	1 kg	田植後14日～ ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)	3回以内	・散布の際は、湛水状態(水深3～5 cm) ・散布後、3～4日間は湛水状態を保ち、7日間は落水やかけ流しない
	ヒエクリーン 豆つぶ250	250g	田植後15日～ ノビエ4葉期まで (収穫45日前まで)	1回	・散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6 cm) ・散布後、3～4日間は湛水状態を保ち、7日間は落水やかけ流しない
ノビエ 広葉雑草 (ホタルイ オモダカなどが 残った場合)	ウイードコア 1キロ粒剤	1 kg	田植後15日～ ノビエ4葉期まで (収穫60日前まで)	2回	・散布の際は、湛水状態で田面に均一に散布する ・散布後、3～4日間は湛水状態を保ち、7日間は落水やかけ流しない
	ワイドショット 1キロ粒剤	1 kg	田植後15日～ ノビエ4葉期まで (収穫45日前まで)	1回	・散布の際は、湛水状態で田面に均一に散布する ・散布後、3～4日間は湛水状態を保ち、7日間は落水やかけ流しない
	クリンチャー バスME液剤	1,000ml 希釈水量 70～100L	田植後15日～ ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)	2回以内	・晴天日を選び、落水状態で雑草の茎葉に確実に付着するよう丁寧に散布する ・散布後少なくとも3日間は入水や落水をしない
	トドメバス MF液剤	1,000ml 希釈水量 70～100L	田植後15日～ ノビエ6葉期まで (収穫50日前まで)	2回以内	・晴天日を選び、落水状態で雑草の茎葉に確実に付着するよう丁寧に散布する ・散布後少なくとも3日間は入水や落水をしない
	ロイヤント乳剤 (クサネム対策)	200ml 希釈水量 100L	田植後20日～ ノビエ5葉期まで (収穫45日前まで)	2回以内	・落水状態またはごく浅く湛水して散布する ・土壌水分が少ないと効果が発揮されない場合があるため、落水状態で散布した場合は3日以内に入水する ・7日間は落水やかけ流しをしない

湛水状態で散布する除草剤は除草効果を高めるため、散布前に軽い田干しを行い、水の入替えを行ってから散布しましょう。除草剤散布の際は、周辺の作物に飛散しないよう注意しましょう。

春の農作業安全運動 実施中

3月1日～5月31日

あなたも農作業中に「ヒヤリ」とした経験はないですか？
農場や道、用水路など危険箇所を事前に確認し、余裕をもった作業計画を立て、事故を未然に防止する対策を徹底しましょう。

富山市農協ホームページで
営農情報の提供をしています
<http://www.ja-toyamashi.or.jp/jouhou/>

JA 富山市 営農情報 検索
こちらで検索！

JA 富山市
公式LINE

農業に関する速報や
営農情報などお届け
お友達登録をお願いします

